

2026・10・5・全校集会

対話をしよう！ 2

先週金曜日に行われた、どんぐり祭、各学年・吹奏楽部・テナムの会・有志チームのみなさん、素晴らしいパフォーマンスを有難うございました。改めてお礼を言います。

最初に机を向かい合わせにし
て3～4人組をつくってくだ
さい。



校長先生には企業の人事部で長い間働いている友達があります。彼はアルバイトも含めると年間何百人もの人の採用に携わっています。その彼から聞いた話を皆さんにお伝えします。



次の3つの中で、企業が
一番採用しない人はどの
タイプの人でしょうか？
考えてください。

①遅刻する人

②借金する人

③挨拶ができない人

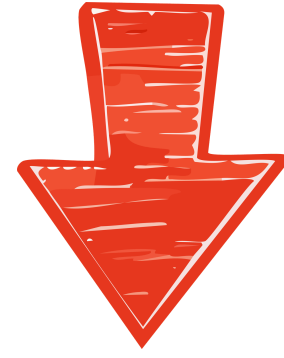


遅刻・借金・挨拶できない、どのタイプの人が一番採用されないでしょうか？グループ内でその答えと、その理由をお互いに伝え合ってください。伝える時には相手の目を見て、話す・聞くをしてください。

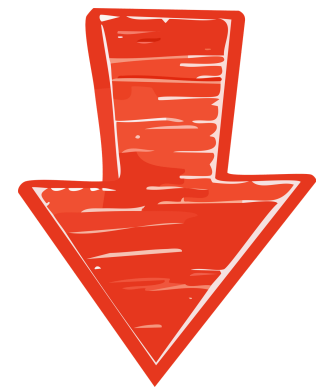
答えは①の「遅刻をする人」です。
ではなぜ、採用されないのでしょうか？その理由をグループで考えて話し合ってください。



このような答えが多かったのではないのでしょうか？

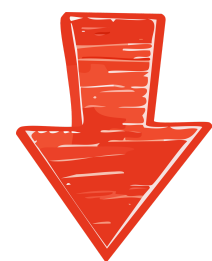


遅刻する人は商談や契約時間に遅れてしまい、
契約がダメになったり、会社の信用を
無くすから



そのような答えではありません。もっと
深く考えてみましょう！

結論から言うと遅刻をする人はあまり成長が期待できないそうです。遅刻する人は心の中で「少し位遅れてもいいだろう」「この位でいいだろう」と自分勝手に基準やルールを決めて行動する人が多いそうです。遅刻が多い人は心当たりがないですか？



そうになると、いくら大切なことや新しいことを教えても素直にそれをせず、しんどくなったり、面倒くさくなれば「この位は」と自分のルールや基準で努力をやめてしまうのです。企業としては伸びない人をわざわざ給料を払ってまで採用しようとは思いませんよね？

又、遅刻をする人は高校や企業を途中でやめるタイプの第1位だそうです。途中でやめる人も採用したくないですね？



ニュージーランドの調査ですが、遅刻が多いなど、セルフコントロールができない子供は大人になったときにそうでない人に比べて、病気になるリスクが3倍、逆に収入は3分の1になってしまいうそうです。

どうですか？たかが遅刻ですが、これからの人生の足を引張る大きな原因となるのです。

遅刻の多い人は中学校の間にこの悪い癖を直してください。校長先生からのお願いです。

